



学校だより

～立花小学校は令和5年3月に創立150周年を迎えました～

たちばな

2023年4月7日

尼崎市立立花小学校
校長 植木 加代子

“こどもまんなか” 新たな春のはじまりです

この春は例年より早く訪れ、ソメイヨシノと八重桜がちょうどバトンリレーをするタイミングでの進級や入学となりました。ひととき新鮮な春です。お子さまのご入学ご進級おめでとうございます。ランドセルの大きさは入学時から変わらなくても、それをお子さんが背負って「行ってきます」と家を出られる姿を見たとき、入学時と比べて嬉しい驚きを感じられることと思います。

子どもの1年間、1か月、1日1日の育ちの積み重ねは、本当にかげがえのない貴重なものです。学校だけでも家庭だけでも、子どもがバランスよく健やかに育つことは難しいです。それぞれにしかできない役割と責任があるからです。そのバランスが崩れ、ネグレクトや虐待、不登校なども問題が増加していることから、4月1日「こども家庭庁」「こども基本法」が発足、施行されました。学校と家庭が相互に役割を果たし、リスペクトし合いながら“こどもまんなか”でガッチリ連携していきましょう。立花小学校職員一同は、大切なお子さん一人ひとりのために、確かな学力・思いやりと感性豊かな心・健やかな体の育成に努め、一致協力し、愛をもって尽力してまいります。どの子どもにとっても、学習でわかることが増えることで授業が楽しくなり、友だちができ、安心して過ごして笑顔になれる学校経営をめざしてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

本校は、令和5年3月に創立150年を迎えた、市内でも最も歴史のある小学校のひとつです。地域の方々による実行委員会が中心となり、2学期の式典や記念冊子、記念事業を進めてくださっています。また、子どもたちが主体となってお祝いする会も学校とPTAで予定しています。

また、昨年度より学校運営協議会が発足し、コミュニティスクールとなりました。立花小HAPPYネット活動として地域の登下校見守りや読み聞かせ、学校の花壇づくりなど、立花小学校を核に、地域と学校がともに手を携えて、地域の交流の和を広げながら、地域の未来の担い手となる子どもたちを育てていく学校です。特に今年度は150周年を機会に、同じ立花小学校卒業生ということで世代を越えたつながりやひろがり生まれることを願っています。

今年度も尼崎市のモデル校園指定を受けて、立花幼稚園・大西保育所・そして今年度よりわくわく保育所も加わって幼保小連携を進めていきます。特に、入学したばかりの1年生がスムーズに学校になじむことができるよう、大学准教授、市教委の指導や研修を受けながらスタートカリキュラムを実施しています。登校して荷物を置いたら、朝はのびのび自由遊びから始まりますので、たっぷり好きな遊びをすることで友だちも自然にでき、学校に無理なく親しむことができます（他学年の保護者や地域の方で、1時間ほど遊びの見守りボランティアをしてくださる方を募集中です）。多層指導モデルMIMも導入し、読みのつまずきを早期発見し、よりきめ細かい指導の手立てができるように努めています。1人1台のタブレットも市から貸与されますので、ICTを活用した教育も展開しています。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、関係機関や専門家とも連携し、様々な視点から子どもたちや保護者にも寄り添うことができるような体制づくりもしています。立花小学校全ての教職員で子どもたちを見てまいりますので、どの教職員にでもご相談していただければと思います。学びのあり方も多様化してきており、様々な場が広がっています。お子さんや子育てについての困りごとがありましたら、気軽に学校にご相談ください。

“こどもまんなか”の立花小学校令和5年度のスタートです。

